

## 2023 年度後期 大学入門ゼミフィールドワーク報告書

### 天王寺動物園と阿倍野ハルカス



天王寺動物園にて（撮影：2023 年 11 月 18 日、渡辺和之）

阪南大学国際観光学部 渡辺ゼミ

## はじめに：フィールドワークのテーマを決めるまで

国際観光学部 3年 SA 三好 広高

国際観光学部では、1年生の後期には日帰りのフィールドワークをおこなっています。行き先はもちろん、テーマに関しても、すべてゼミごとに学生が決めることになっています。2年生以降では専門ゼミでたくさんフィールドワークをするので、その練習にもなっています。

まず、1年生にどこに行きたいか、各自調べてもらいました。候補に挙げられたのは、天王寺動物園・あべのハルカス・淡路島・京都・滋賀でした。また、1人5分ぐらいでパワーポイントを使って調査計画を発表してもらいました。

その後、全員で投票をした結果、天王寺動物園とあべのハルカスに決まりました。レポートのテーマを決めるとき、ほとんどの学生は天王寺動物園について書くと言いました。また、一人の学生はあべのハルカスについて書くと言い出しました。

大阪の有名な観光スポットである天王寺動物園やあべのハルカスで何を見て、何を感じ、何を学んだのか。それをレポートに書いてもらいました。

以下、読んで頂けると幸いです。



写真1 普段のゼミ風景（撮影：三好広高、2024年1月17日）

# 動物園の歴史

国際観光学部 1 年 清水 紘奈

## 1. はじめに

2023 年 11 月 18 日土曜日に大阪にある天王寺動物園で後期のフィールドワークを行いました。私達は事前に決めていたレポートの内容をもとに動物園をまわりました。私は動物園の始まりに興味を持ちました。以下では、動物園の歴史について考察します。

## 2. 天王寺動物園に行ってみると感じたこと

当日、動物園が改装工事中だったので、普段に比べて展示されている動物が少なかったです。しかし、動物が身近に感じられる場所が多くあり、ゾウの骨格標本と半身のレプリカが展示されていました。また、子供たちがより楽しめるようなゾウさんバギーの貸出がありました。とても満足のいく動物園でした。

## 3. 日本の動物園の始まり

帰ってから動物園の歴史について調べてみました。石田戡著『日本の動物園』によると、長い鎖国が終わった明治維新頃、幕末・明治の高官たちはこぞってヨーロッパへと視察の旅に出かけました。西洋文化の圧倒的な力量を前にして、啞然とした高官たちはそれらを求めて西欧諸国へと渡航し始めるようになりました。明治維新以後、文明開化が叫ばれ、旧制度を一斉に改正する必要があった明治政府は、制度から文明、機械に至るまですべてのものを西洋文化から取り込んでいます。彼らがヨーロッパで見たものは、文化と科学技術を結集した博覧会や世界の文物を集めた博物館、そして世界中から集められた珍獣を展示する動物園などでした。ヨーロッパは博物学と技術文明全盛の時代だったのです。彼らは博覧会と博物館にひきつけられ、日本でも同様の博物館をつくりたいと考えました。その準備として、国内産の科学と技術、博物を集める必要がありました。帰国した博物学徒は、博覧会の会場と予算を求めました。その間、明治 6 年の政変、西南戦争、大久保利通の暗殺など幾多の困難に遭遇しながらも、内国博覧会を開催するのに成功しました。明治 15 年、博物館と動物園の建設にこぎつけていきました。現在の東京国立博物館と上野動物園にあたります。これが日本の動物園の始まりとなりました<sup>1)</sup>。

## 4. 開園当初の動物園

同書によると、明治 15 年 3 月 20 日、博物館の開館にあわせて動物園も開園しました。工事着手からわずかに 4 ヶ月で設立し、当時の費用で 6500 円かかりました。博物館の開館日には明治天皇を迎えて式典が行われました。午後 2 時過ぎから一般の人も入ることが許されました。開館日の入園者は 709 人、博物館本館は 1400 人いました。華々しく開館

した博物館と比べ、ひっそりとオープンしたにもかかわらず、動物園の入園者が博物館の半数にも達していました。この年の4月には、来場者が多いため、本来休園すべき月曜日にも開園しています。8月からは病原菌コレラが流行したため、閉園が多くなりましたが、動物園は12月末までに194日開園、入園者は約20万人を数えています。博物館はこれより少なく17万人に終わっています。これ以降、動物園の入園者数が博物館のそれを下回ったことはありません。ここから、いかに動物園が人々から親しまれたのかが分かりました<sup>2)</sup>。

## 5. 天王寺動物園の歴史

1915年（大正4年）、天王寺動物園は日本で東京（上野）、京都について3番目の動物園として開園しました。天王寺動物園の70年史によれば、この時に動物181点が譲渡されましたが、その内訳は不明とされています。新たに購入された50点余りとともに230点ほどの動物コレクションによって、天王寺動物園はスタートしました。当時の名称は、大阪市立動物園でした。天王寺動物園と改称されたのは、昭和39年のことです。大阪市立動物園は開園当初から大変人気がありました。入場者は順調に増加して大正7年度には100万人を突破しました。同年の上野動物園の入場者が75万人であることと比べると、大阪での動物園の人気よくわかります。天王寺動物園の資料には、有料入園者の統計しか残されておりませんが、上野と天王寺を比較すると、大正5年から12年までと、昭和元年から9年までの間は、天王寺のほうが上回っていました<sup>3)</sup>。

## 6. まとめ

日本の動物園の始まりは明治時代に日本にやってきた西洋文化から始まっていることを知りました。現代の私たちと同様に、明治時代の人々も動物に親しみをもって生活していました。明治時代から現代までの間に戦争や様々なことが日本でも起こっていましたが、動物園が開園以来人々から愛されていることを知り、うれしく思いました。

### 【注】

- 1) 石田戡 2010『日本の動物園』東京大学出版会, p.30。
- 2) 前掲書 p.37。
- 3) 前掲書 p.54。

### 【参考文献】

石田戡 2010『日本の動物園』東京大学出版会。





写真 1 天王寺動物園 撮影: 清水紘奈



写真 2 見学する学生たち 撮影: 渡辺和之

# 天王寺動物園の動物について

国際観光学部 1年 稲田 衣莉

## 1. はじめに

2023年11月18日、天王寺動物園へフィールドワークに行きました。最近、天王寺動物園では、園内のリニューアル工事を行っており、ニュースで話題となりました。私の地元は愛媛です。大学に入って初めて大阪に来たので、天王寺動物園に来園するのは初めてでした。フィールドワークに行き、天王寺動物園は古くからあり、展示も常に新しくしていることを知りました。本レポートでは、フィールドワークに行き、関心を持った天王寺動物園の歴史やリニューアル計画について、調べてみることにしました。

## 2. 天王寺動物園の発祥

天王寺動物園公式ホームページによると、天王寺動物園の発祥のルーツは明治17年(1884年)11月に附属動物檻を設置した府立大阪博物場が始まりです。当時の博物場は美術工芸品、各地の物産品、盆栽、菊花、観桜、能、歌舞音曲演奏などバラエティに富んだもので、おおよそ博物館というより博覧会のパビリオンか娯楽場のような様相が窺えます。ここへさらに動物の展示檻が加わったのですから、当時のレジャー、アミューメント施設が十分でない時代、見世物として十分に機能を発揮していたことがわかります。それを表すものとして明治32年(1899年)に31万5300名余りの入場者がありました。無料化のあと明治41年(1908年)には85万1000名余りの入場者を数え、おおよそ博物館とはいえないほどの観客が詰め掛けています。このことから当時の書物に「大阪最大の楽園」と表されたほどです。この施設の動物檻が大正4年(1915年)1月に場所を中央区から天王寺に移して大阪市立動物園として継承され開園しました<sup>1)</sup>。天王寺動物園発祥のルーツが明治時代の博物場にあったことに驚きました。

## 3. ZOO21 計画について

実際に天王寺動物園を訪れ、改修工事の多さに驚きました。ホームページによると、天王寺動物園では昭和36年(1961年)からの9か年計画以降、30年余りが経過し、施設の老朽化が目立つようになりました。平成元年(1989年)には天王寺公園に多目的ドーム建設が持ち上がり、移転を含めた検討委員会が組織され、移転新設のプランが立てられました。しかし、これには膨大な予算を必要とし、動物輸送も困難を極めるといった諸々の理由や周辺地域

が衰退荒廃するなどの地元要望から存続が決定しました。当時はバブル絶頂期でした。折角、移転新設のために計画した生態的展示を取り入れた動物園の将来計画を何とか生かさないものかと何度も見直しをかけ、平成7年(1995年)3月に「ZOO21基本計画」が完成しました。爾来、3期に区分した20数年のマスタープランに基づいて生態的展示の動物舎を建設することになりました。一部は遡って先行した「爬虫類生態館・アイファー」を初めとして、「水中透視のカバ舎」、「サイ舎」、「アフリカサバンナ区草食動物ゾーン」、「アジアの森・ゾウ舎」、そして現在、建設中の「アフリカサバンナ区肉食動物ゾーン」と計画が進み園地の1/3余りの改修を終えていますとありました<sup>2)</sup>。

大阪市によると、Zoo21は2015年に今後の方向性を示した基本構成を作成し、そこから令和3年の改装工事につながっています。ZOO21計画を知り、フィールドワークの際に感じた工事の多さに納得しました。ZOO21計画を知り、フィールドワークの際に感じた工事の多さに納得しました<sup>3)</sup>。

#### 4. まとめ

私は大阪に来て今回のフィールドワークで初めて天王寺動物園に訪れました。残念ながら改修工事のため本来の姿の天王寺動物園を見ることはできませんでしたが、本レポートおよびフィールドワークを通じてZOOM21計画や天王寺動物園のルーツを知り、実際に現地に足を運ぶことができました。改修工事が終わりさらにパワーアップした天王寺動物園になることを楽しみにしたいと思います。

#### 【参考文献】

- 1). 中川哲男 2005「80周年からの10年」『なきごえ』40(10)  
[https://www.tennojizoo.jp/nakigoe/2005/10/con\\_05.html](https://www.tennojizoo.jp/nakigoe/2005/10/con_05.html) (閲覧日：2024年1月17日)
- 2). 3). 同上
- 4). 大阪市「天王寺動物園基本構想を策定しました(2015年8月18日)」  
<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000321456.html> (閲覧日：2024年1月17日)

# 天王寺動物園サバンナゾーン

国際観光学部 1 年 佐藤 佳奈

## 1.はじめに

11月18日の後期フィールドワークは天王寺動物園になりました。このレポートでは、天王寺動物園のサバンナゾーンにいた動物とその特徴について述べていきたいと思えます。

## 2.天王寺動物園のサバンナゾーンと動物

『講談社の動く図鑑 MOVE：動物』によると、サバンナは熱帯地方に広がる大草原であり、雨の降る雨季とほとんど降らない乾季があります。雨季には一面に草がおいしげります。この草を求めてサバンナにはシマウマやキリンなどの草食動物が生息します。乾季には草食動物を食べるため、肉食動物が集まってきます。食物が枯れると動物たちは食物を求めて長い距離を移動します<sup>1)</sup>。

サバンナでは肉食動物と草食動物が見られます。ライオンなどの肉食動物は草食動物を捕食し、シマウマなどの草食動物は植物を食べて生活しております。これによって自然の生態系が成り立っています。しかし、人間の介入などで肉食動物が減少すると、草食動物の数が増え続けます。この状態が続くと植物がなくなり、草食動物は食べるものがなくなってしまう問題が起こります。このようにどれか一つが崩れると自然の生態系がすべて崩れることとなります。自然には人間がむやみに介入しないことが重要です。

天王寺動物園のサバンナゾーンでは、キリン、ライオン、シマウマを見ることができます。キリンは屋内で、そのほかの動物は屋外にいます。『講談社の動く図鑑 MOVE：動物』によると、キリンはキリン科であり、長い首と足を持ち、草原に住んでいます。動物のなかでは一番背が高く、銅が短いのが特徴であり、時速 45～50 kmで長距離を走ることができます。目が大きくて視力が良く、高い位置にあるため、哺乳類の中で一番広い範囲を見ることができます。キリンの食事は 45cm 伸びる長い舌を木の枝に絡めて、葉を口に運んでいます。唇と舌が丈夫なため、とげに守られた木の枝からも葉をとることができます。聴覚が優れていますが、身振りによる信号でコミュニケーションを行っています。ほかにも長い角や強烈なキックができる前足もあります。キリンは心臓が強く、血液を送り出し、脳まで押し上げるため、高血圧です<sup>2)</sup>。

ライオンはネコ科であり、筋肉質でしなやかな体を持ち、高い瞬発力とスピードをかねそなえています。ネコ科の多くは単独で行動しますが、ライオンはネコ科では珍しく群れで暮らしています。最高時速 60 kmほどで走ったり、前足で獲物に一撃を加えたりして、狩りをします。ライオンのたてがみは量が多く、色が濃いほど強いオスです。ライオンには音をよく集めるための大きな耳たぶがあります<sup>3)</sup>。天王寺動物園では、メス 2 頭とオス 1 頭を確認しました。

シマウマは後ろ足のひづめのある指の数が奇数のウマ目と呼ばれる動物です。体は大き



く、足の指は一本であり、速く走ることが出来ます。たてがみは頭や首の後ろの保護や体温の調節に役立っており、体の縞は草原などでカムフラージュの役目をはたすと考えられています。目は頭の後ろの方にあり、広い視野をもちます。鼻は糞や尿のにおいで仲間の移動したあとを追跡するのに役立ちます。耳は動かすことで遠くの音を聞き、音の方向を知ることができます。前歯は上下がかみ合うため、かたい草をかみ切ることができます<sup>4)</sup>。

天王寺動物園のサバンナゾーンでは、岩や池、木などが設置されていました。ライオンは集まってのんびりしており、キリンやシマウマは植物を食べ続けていました。サバンナの自然環境に近づけるための工夫がされていると感じました。

#### 当日の動物園の様子

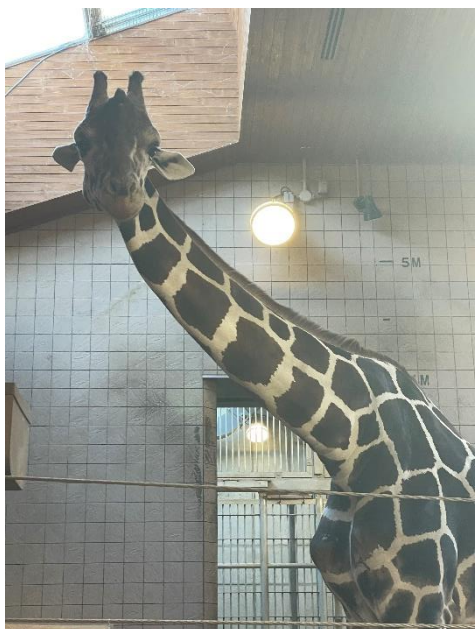


写真1 食事をしているキリン（室内）  
（撮影：佐藤佳奈）。



写真2 寝ころんでいる雄ライオンと歩き回っている雌ライオン（撮影：佐藤佳奈）。

#### 注

- 1)山極寿一（監修）『講談社の動く動物 MOVE：動物』講談社 2011年発行 24ページ。
- 2)前掲書 121ページ
- 3)前掲書 57ページ。
- 4)前掲書 95ページ。

#### 参考文献

山極寿一 2011（監修）『講談社の動く図鑑 MOVE：動物』講談社

# 鳥の学園

国際観光学部 1年 岡田 碧唯

## 1. はじめに

2023年11月18日土曜日、私達は後期のフィールドワークで天王寺動物園を訪れました。私は、園内の中にある鳥の学園について調べました。以下に詳しく考察します。

## 2. 鳥の学園について

天王寺動物園のマップの左上に、「鳥の学園」とあります。入園ゲートを入り、進んでいくと、分かれ道で左に進んでいきます。すると、左側に黒の網で覆われたスペースがあります。入口に入り、通路を進むと、施設内に森林や池などがあり、動物園内のように見えない程、自然が再現されていました。ガラス張りの場所から中の様子を見られるスペースもありましたが、その場所を過ぎると、実際に鳥が飛んでいる空間に入ることが出来ました。小さな窪みに立つことができ、真上を飛ぶ鳥もいました。他にも、近くの木に止まっている鳥や、エサを食べている姿が見えました。

## 3. 鳥の学園にいる鳥の紹介

私はどの鳥がどんな鳥であるのか気になり、調べました。以下、天王寺動物園の鳥の学園の看板、ホームページから鳥の紹介をします。

- ① シュバシコウ：小沼、湿地などに生息するコウノトリの仲間です。普段は、アフリカに生息し、繁殖期になるとヨーロッパに渡ります。古くからヨーロッパでは幸福や長寿のシンボルとされ、赤ん坊や幸運を運ぶ鳥として親しまれています<sup>1)</sup>。
- ② オシドリ：山間の湖沼や溪流に生息します。オスは首にオレンジ色の立て筋のある羽毛と、赤褐色で扇形をした銀杏羽を持つのが特徴です。オスとメスのつがいで見られることが多いことから、仲の良い夫婦を例えた言葉「オシドリ夫婦」の語源となっています<sup>2)</sup>。
- ③ カルガモ：湖沼、河川、水田、海岸に生息します。嘴は黒く、先端だけ黄色いのが特徴です。オスが派手な色をしている他のカモ類とは、異なりオスもメスも体が褐色をしています<sup>3)</sup>。
- ④ ゴイサギ：幼鳥の頃は白い星柄模様でホシゴイと呼ばれます。成鳥になると白と紺のツートンカラーとなり、その体形と大きさからペンギンに見間違えることもあります<sup>4)</sup>。
- ⑤ カワウ：魚を主食とする鳥の学園の潜水士です。高い潜水能力と旺盛な食欲のため、野生では漁業への害が深刻化しています。宝石のようなエメラルドグリーン目の眼があります<sup>5)</sup>。

- ⑥ コサギ：シラサギの中で最小種です。足の指が黄色いので他のシラサギと区別できます。繁殖期には後頭部から二本の冠羽が伸び、箕羽と呼ばれる飾羽が胸や肩からのびます<sup>6)</sup>。
- ⑦ マガモ：ユーラシア大陸および北アメリカ大陸に広く分布します。水面で逆立ちをして、水草などを食べます。繁殖期のオスには頭全体が美しい緑色になり、メスに求愛します<sup>7)</sup>。
- ⑧ アオサギ：サギの仲間では最大の種類です。様々な魚類を捕食します。飛んでいる姿は雄大で動物園内でも野生個体が多いです<sup>8)</sup>。
- ⑨ クロトキ：中国から東南アジアに生息し、日本でもまれな冬鳥として飛来することがあります。少し曲がったくちばしを器用に使い、浅瀬や土の中のエサを探します<sup>9)</sup>。

#### まとめ

私は、鳥の学園には渡り鳥が多いと感じました。調べてみると、カルガモ・ゴイサギ・コサギ・マガモ・アオサギが渡り鳥でした。渡り鳥が半数いることが分かりました。しかし、渡り鳥だと日本で長く生息してられないはずですが、鳥の学園で飼われている鳥たちは、留鳥でもあり、動物園で飼える鳥を飼育していることが分かりました。頭上で翼を大きく広げ、飛んでいた鳥は、渡り鳥だからということを理解しました。



写真1 コサギ

【参考文献】

- 1) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/> 「鳥の学園：シュバシコウ」(閲覧日：2024年1月10日)
- 2) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/mandarinduck/>  
「鳥の学園：オシドリ」(閲覧日：2024年1月10日)
- 3) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/chinesespot-billedduck/>  
「鳥の学園：カルガモ」(閲覧日：2024年1月10日)
- 4) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/nycticorax-nycticorax/>  
「鳥の学園：ゴイサギ」(閲覧日：2024年1月10日)
- 5) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/phalacrocorax-carbo/>  
「鳥の学園：カワウ」(閲覧日：2024年1月10日)
- 6) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/littleegret/>  
「鳥の学園：コサギ」(閲覧日：2024年1月10日)
- 7) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/commonmallard/>  
「鳥の学園：マガモ」(閲覧日：2024年1月10日)
- 8) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/ardea-cinerea/>  
「鳥の学園：アオサギ」(閲覧日：2024年1月10日)
- 9) <https://www.tennojizoo.jp/picturebook/bird/threskiornis-melanocephalus/>  
「鳥の学園：クロトキ」(閲覧日：2024年1月10日)

## 天王寺動物園のサルについて

国際観光学部 1 年 原 優輔

2023 年 11 月 18 日土曜日に大学入門ゼミのフィールドワークで天王寺動物園に行きました。初めに渡辺ゼミのメンバーで何をするのか話合った結果、たくさんの意見がでました。その中で私は天王寺動物園にはどのようなサルがいるのかを調べました。

天王寺動物園には、9 種類のサルが飼育されています。フランソワルトン (*Trachypithecus francoisi*)、フクロテナガザル (*Symphalangus syndactylus*)、クロシロエリマキキツネザル (*Varecia variegata*)、ブラッザグエノン (*Cercopithecus neglectus*)、ブタオザル (*Macaca nemestrina*)、カニクイザル (*Macaca fascicularis*)、シシオザル (*Macaca silenus*)、サバンナモンキー (*Chlorocebus aethiops*)、フサオマキザル (*Cebus apella*) の 9 種類です。

天王寺動物園の説明によると、フランソワルトンは、「樹上で生活し、木の葉を主に食べています。おとなは黒い毛と頬の白い毛が特徴ですが、赤ちゃんは金色の毛をしています」とのことです。フクロテナガザルは、「テナガザルの仲間では、最大の種です。オス、メスともに、のどに大きな袋をもち、大きな声で合唱するように鳴きます」とのことです。クロシロエリマキキツネザルは、「マダガスカル島だけに生息するサルです。キツネザルの仲間のなかでは最も大きい種で、耳から顎にかけて房毛があり、これがえりまきのように見えることからこの名がつけました」とのことです。ブラッザグエノンは、「白くて長いあごひげと、オレンジ色の額が特徴です。狭い範囲を動き、果実の実った木を訪れて集中的に食します」とのことです。ブタオザルは、「尾の形がブタの尾に似ていることから、この名がつけました。マレーシアやタイでは、このサルを訓練して、高いところにあるヤシの実を取らせています」とのことです。カニクイザルは、「実験動物などとして日本に輸入され、逃げ出したが個体が野生化している地域があります。ニホンザルとの交流も心配されています」とのことです。シシオザル、「尾の先がライオンの尾のように房になっているため、シシオザルと呼ばれています。10~20 頭の群れをつくって森林で暮らしています」とのことです。サバンナモンキーは、「水場があれば、かなり乾燥した地域にも住むことができます。ヘビやワシなど天敵が現れると、警戒声を出し、それぞれの天敵に合った行動をします」とのことです。フサオマキザルは、「石を道具として使うこともできる、知能が発達しているサルです。3~15 頭程度の群れを作り、果実や種子、昆虫などを食べて生活します」とのことです。

フィールドワークに行った日は気温が低かったので、日の当たる場所にほとんどのサルが集まって、体を暖めていました。また、天王寺動物園の解説板で、サルは群れで行動をする、実をとって食べる、石を使うサルの種類もいることを知りました。人に進化する前の原人に似ているところがあることに気づき、おもしろいと思いました。





写真 1 天王寺動物園のサル舎(撮影：原優輔)

## レッサーパンダについて

国際観光学部 3年 SA 三好 広高

### 1. はじめに

2023年11月18日(土)に大学入門ゼミのフィールドワークに行きました。そこで天王寺動物園にいるレッサーパンダについて調べることにしました。

### 2. 事前学習で分かったこと

レッサーパンダの学名は *Ailurus fulgens styani* です。『世界大博物図鑑』によると、レッサーパンダは食肉目アライグマ科(Procyonidae)のパンダ亜科の1属1種で、ヒマラヤから中国南部に分布しています。レッサーパンダを発見したのは19世紀のイギリスのインド提督ハードウィックと言われているようですが、事実は判然しません。1869年イギリスのインド探検家シンプソンはレッサーパンダの個体3頭を生け捕り、うち1頭をロンドン動物園へ持ち帰りました。当時の園長バートレットはかなり衰弱していると判断し、原因を航海中の餌と考えました。シンプソンによると、船中レッサーパンダに与えられたのはご飯と干草等だそうです。肉食獣であるパンダが弱るのは当然だとバートレットは考えました。しかし、シンプソンは、レッサーパンダは草食獣であるといいました。検証するため庭に放すと、リンゴや木の葉などをむさぼり食いました。実際、野生のレッサーパンダは昆虫などを食べることもあります。タケノコや果実を好物とする食肉類です。レッサーパンダ発見当初はアライグマ説等多くの意見がありました。ドイツの分類学者ウェーバーは、レッサーパンダは特殊化したアライグマで、ジャイアントパンダとは関係ないとの説を発表しました。しかし、定説にはならず、クマ説やアライグマ説、またジャイアントパンダをクマ科、レッサーパンダをアライグマ科とする説が錯綜しています。パンダ類は陰茎が小さく後ろ向きで、陰茎骨が短いという特徴があるので、パンダ科として独立させる見方も根強いそうです(荒俣1988, pp.162-163)。

『ネパールの哺乳類』という本によると、現地名は「ラトパンダやホブライー」だそうです。ただし、地方で付けた呼び名は場所で異なり、ポータリア語は「バル・ビラーロ」等、レプチャ語は「サクナム」です。頭は2フィート(60cm)、胴体は16インチ(940cm)、重さは9ポンド(約4kg)です。赤褐色で光沢がある毛皮を持っています。邪魔されると不気味な口笛を発し、それが鳥の王のさえずりと似ています。口笛音はコミュニケーション手段なのだそうです。ストレス等では、肛門臭腺から生成する強い臭気を発することが分かりました。匂いは防衛や性的魅力の手段となります。飼育下では、肛門腺の腺部分を粗い表面にこすり、その上を移動することで匂いの跡を残し、個体信号として機能します。妊娠中の食事はビタミンやミネラルが与えられます。母親パンダは出産後、赤ちゃんパンダの身体を注意深く絶えずなめ、糞便や尿を除去します。そして、赤ちゃんを膝の上に連れて、おっ

ばいを吸わせます。赤ちゃんパンダは短い間隔で一日中母乳を飲みますが、大きく強くなるにつれ、吸啜の強さは徐々に減るそうです (Shrestha 1997, pp.131-133)。

### 3. 動物園で知ったこと

動物園に掲示してあった情報によると、レッサーパンダの指先にはギーンズを貫通する鋭い爪が生えています。木に登るためにはその鋭さが必要であり、敵に襲われそうになった時には武器にもなります。パンダの語源はネパールの言葉で「ニガラポンヤ」です。これは「竹を食べるもの」という意味で、これがなまってパンダになったとありました。また、どちらも竹(笹)を食べるからパンダと呼ばれていますが、区別をするためにジャイアント(大きい)・レッサー(小さい)と頭につけて呼ぶようになったそうです。しかし、英語のレッサーには劣るという意味があるので、赤茶色の毛の色から、英語ではレッドパンダと呼ばれることが多いです。レッサーパンダはペットにすることが出来ません。なぜなら数は今も減り続けており、その数は少なくても 2500 頭、多くても 10000 頭余りと言われております。ワシントン条約では売ることも買うことも禁止されています。レッサーパンダは蹠行性(しよこうせい)の動物です。蹠行性とは、かかとをついてバランスよく立つことが出来ることで、クマやサルや人間などの霊長類が蹠行性の動物です。レッサーパンダには 2 種類がおります。シセンレッサーパンダとネパールレッサーパンダです。シセンレッサーパンダの方が、色が濃くて体が大きいです。日本の動物園にいるレッサーパンダは、ほとんどシセンレッサーパンダなのだそうです。

レッサーパンダの檻の前で観察していると、木によじ登っていたり、木の上でおとなしくしていたり、活発に動いているときもあれば、動かない時もありました。葉を食べているときもありました。檻の前では小さな子供連れの家族もいれば、大人だけで来ている人やインバウンドで増加した外国人などもおり、様々な年代の人達がレッサーパンダを見ていました。

### 4. まとめ

見た目はかわいいレッサーパンダですが、調べてみると、実は凶暴だったことを初めて知りました。さらに肉食動物なのに、草食性であることを知りました。肉食動物は肉を食わないと弱ってしまうのですが、実際に動物園を見てみると写真2にあるように葉っぱを食べているのが分かります。クマ説などとたくさんの意見があるそうですが、どれが正しいのか私には分かりません。実際見てみるとカメラ向けたときは顔が正面に向いたり、遊んでいたりと等のパンダ特有の愛くるしい瞬間が見ることができたので、パンダ説でもよいと感じました。動物園には一眼レフのカメラを持った人がたくさんいました。動物愛好家の人達は朝早くからやってきて、動物の様子、ご飯を食べているときや木によじ登る等の光景を写真に収めているかと考えました。動物園は朝一番に行って楽しむ場所なのかもしれません。また、日本の動物園は動物前に柵があるが、世界の動物園では、飼育方法や展示の仕方が違うのか

もしれません。日本と世界の動物園を見比べるとまた新しい発見ができそうだと考えました。

このように事前に本で勉強しても、実際にフィールドワークに行ってみると新しい発見がありました。また、逆にフィールドワークから帰って文献を調べるとさらに発見があり、新しい疑問が出て来ることも知りました。

#### 参考文献

荒俣宏 1988 「レッサーパンダ」『世界大博物図鑑：哺乳類』平凡社 pp.162-163.

Shrestha, T.K. 1997 *MAMMALS OF NEPAL*, R. K. Printers pp.131-133.



写真 1 レッサーパンダ(撮影：三好広高、天王寺動物園にて)

## ムフロン

国際観光学部教員 渡辺 和之

ムフロンは野生の羊です。オオカミを家畜化したものがイヌで、イノシシを家畜化したものがブタです。このように、野生動物のなかで家畜のもとになった種のことを野生原種といいます。ただし、野生羊すべてが家畜羊になったわけではありません。野生羊のどれかが人間と出会い、飼い慣らされて、家畜羊となりました。

野生羊の仲間は4種います。ヨーロッパムフロン (*Ovis musimon*) の他に、アジウムフロン (*Ovis orientalis*)、ウリアル (*Ovis vignei*)、アルガリ (*Ovis ammon*) などがいます。染色体数は、ヨーロッパムフロンとアジウムフロンが  $2n=54$ 、ウリアルが  $2n=58$ 、アルガリが  $2n=56$  です。家畜羊 (*Ovis aries*) は  $2n=54$  で、ムフロンと同じ染色体数です(角田 2009:257)。

野生羊の分布域では、ヨーロッパムフロンは、今ではサルディニア島やキプロス島やイラン西部のウルミエ湖など限られたところしか生息していません。アジウムフロンはトルコの小アジアからアフガニスタンにかけて分布します。ウリアルはイラン高原やアフガニスタン、パンジャーブからチベット高原の草原や山地に、アルガリはパミール高原、チベット高原、アルタイ山脈からモンゴルにかけての山岳地帯に生息します(角田 2009:256)。

家畜羊の祖先種は、染色体数や野生羊の分布からみるとアジウムフロンが有力です。ただし、イラン高原には  $2n=54$  から  $58$  までの多様なアジウムフロンとウリアルの交配雑種がいます。 $2n=55$  や  $2n=57$  のようなアジウムフロンとウリアルの交配だけでは生まれえない染色体数を持つ個体も混在しており、単源説では説明できません(角田 2009:25)。

羊が家畜化されたのは、今から9000年頃前の先土器新石器時代Bの中・後期で、西アジアのタウルス山脈南麓からザグロス山脈西麓にかけての地域といわれます(藤井 2001:165-169)。旧石器時代終末期、西アジアの低地部ではガゼル、高地部では野生の羊や山羊が狩猟されていました(藤井 2001:60-64)。そしてこの野生の羊や山羊の住む山の麓こそが羊や山羊の家畜化が起きた場所なのです。

羊は家畜化することで、身体のサイズが小さくなり、尻尾の長さも短くなりました。また、換毛といって、野生の羊は春になると毛が自然に落ちて生え替わります。アジアの羊ではまだ野生の特徴が残っており、春から夏にかけて、抜けた毛が固まった状態で身体にまとわりついているといいます。家畜化の進んだメリノ種などでは、この換毛の現象が起きなくなりました。つまり、人間が羊毛を刈るようになって、自然に毛が落ちなくなるように進化したのです(角田 2009:260)。

また、羊毛の構成で見ると、野生の羊は粗く長い上毛(outer coat)と細かく短い下毛(under coat)にわかれています。上毛は剛毛で kemp と呼ばれています。野生の羊でも直径の短い縮毛(fine wool)は下毛として生えています。家畜化が進むにつれて、上毛の直径が小さくな



り、縮毛化が進んでいきました。つまり、野生の羊は直径の短い上質な下毛と直径の長い粗い上毛のどちらももっており、その差が大きいことになるのです。そして、家畜化が進むとメリノウールのように、上毛と下毛の直径の差が小さくなって行くのです(角田 2009:261)。これは、逆にいうと、ムフロンの上毛はメリノウールよりも粗くごわごわしているけど、ムフロンの下毛はメリノウールに勝るとも劣らないほど繊細で上質なのです。

天王寺動物園は日本でも数少ないムフロンのいる動物園です。ここでは、岩山を模した屋外の飼育場にムフロンがいました。学名が *Ovis musimon* だったので、ヨーロッパムフロンのようです。羊の原種であること、家畜化すると換毛が無くなるなどの説明がありました。

私はネパールで羊飼いの研究をしてきました。ムフロンは地中海沿岸か西アジアにいると習っていたので、そこに行かないと見れないものだと思っていました。岩山に座るムフロンを見ながら、こんなに近くにいたことが知れてうれしく思いました。

ちなみに調べてみると、関東では多摩動物園にもムフロンがいることがわかりました。多摩動物園にはヒマラヤタール(*Hemitragus jemlahicus*)という山羊(*Capra hircus*)の近縁種もいるそうです。こちらは家畜化できなかった山羊の仲間です。

#### 参考文献

角田健司 2009 「ヒツジ：アジア在来羊の系統」 在来家畜研究会 (編) 『アジアの在来家畜』 名古屋大学出版会, pp.257-279.

藤井純夫 2001 『ムギとヒツジの考古学』 同成社。

多摩動物園「園内マップ」 <https://www.tokyo-zoo.net/zoo/tama/map.html> (閲覧日：2023年12月27日)



写真1 ヨーロッパムフロン (*Ovis musimon*)。撮影：渡辺和之、天王寺動物園にて。

## あべのハルカスについて

国際観光学部 1 年 村田一翔

『大阪建築』という本によると、あべのハルカスは2014年3月にグランドオープンしました。あべのハルカスの名前の由来は「人の心を晴れ晴れさせる」を意味する古語「晴るかす」に由来します。300メートルの日本一の超高層複合ビルです。百貨店や美術館、オフィス、高級ホテルを兼ね揃えた「立体都市」(赤坂秀則・取締役専務執行役員)の触れ込みで、関西広域から年間約4740万人の来場を見込んでいます。58~60階の3フロアにわたる展望台があり、抜きふけの開放的な空間には360度見渡せる展望台ゾーンの他景色を眺められるカフェやキャラクター"あべのべあ"グッズが買えるショップもあります。スリリングなアトラクション体験や季節ごとに開催されるイベントもあるそうです(倉方俊輔・柴崎友香2014)。フィールドワークに行った時、あべのハルカスの展望台でVRバンジーをしている人を見かけました。

大阪最高峰の展望台から東西南北を見下ろすと、南北軸に上町台地が浮かび上がります。北側には眼下に四天王寺が広がり、ビル群や寺社を挟んで、彼方に大阪城の天守閣が確認できます。一方では南側はその多くが風致地区の住宅街であるため、ランドマークとなるような高い建物はありません。こうした台地と平地の高低差を歩いて実感するには「天王寺七坂」がいいでしょう。北から順に真言坂、源聖寺坂、口縄坂、愛染坂、清水坂、天神坂、逢坂と並びますが、なかでも石畳と石段の織り成す源聖寺坂が味わい深いです。

私が展望台から見えたのは、北側には天王寺駅、てんしば、天王寺動物園、通天閣がみえた。『大阪の教科書』によると、大阪城や天王寺七坂を同じ北側の方向に見えると書いてあります(JTBパブリッシング2022)。しかし、私が行った時には肉眼ではよく見えませんでした。またこの本には、天王寺から大阪城までの上町大地がよく見えると書いてありました(JTBパブリッシング2022)。天王寺駅が高台にあるのは分かりました。また動物園から新今宮にかけて段々下がっているのがよく見えました。一個下の階には、お土産売り場でぬいぐるみなどを売っていたり、家族連れやカップルが多くいました。

無料の展望台の景色と比べ高さがあり、とてもきれいに見えました。行ってみるべき大阪の観光スポットだと感じました。

### 参考文献

倉方俊輔・柴崎友香 2014『大阪建築：みる・あるく・かたる』京阪神エルマガジン社  
JTBパブリッシング 2022『大阪の教科書：大人のための地元再発見シリーズ』



写真1 阿倍野ハルカスから難波方面（撮影：渡辺和之）



写真2 阿倍野ハルカスからの大阪城（撮影：渡辺和之）



# ハルカスから見た戦前と戦後

国際観光学部 3 年 SA 水島 直嗣

## 1.はじめに

2023 年 11 月 18 日にハルカスにハルカスから見える現在の阿倍野の街並みについて調査に行きました。現在の発展した阿倍野の町並みと戦後すぐの街並みを比べて約 78 年間でどのような変化があったか。また、人が集まりやすくなっている場所はどのような場所かをテーマに調べました。

## 2.調査内容

ハルカス展望台から見た風景をもとに、人が住む住宅地、人が集まる商業地に分けて、人の動きや人が集まる条件を戦後と今に分けて書籍やインターネットを用いて調査します。また、阪南大学の南キャンパスからははっきりと見えるハルカスをハルカス展望台から見ることができるのかについて調査します。

## 3.調査予想

### ・街並みの変化

私は終戦から 78 年たった今と過去では鉄道も道路も違い、今とは別の場所が栄えていて、過去の人の動きもわかるのではないかと予想しました。

### ・ハルカスから阪南大学南キャンパスは見えるのか

私はハルカスからでも南キャンパスは見えると予想しました。なぜなら、南キャンパスからははっきりとハルカスが見えため、ハルカスから見たときに見えなくなることはあり得ないと考えたからです。

## 4.事前学習

戦後 5 年以内のハルカス周辺の地図と今のハルカス周辺の鉄道や道路の違いを、地理院地図を用いて見比べました<sup>1)2)</sup>。

### この資料からわかること

主な道路には大きな変わらないが、現代にはハルカスから左側に高速道路（阪神高速 14 号松原線）が走っていることがわかりました。また右側にも大きな道路（府道 28 号）ができていくことがわかります。

鉄道はほとんど変わりがなく、この写真からは地下鉄はみえませんが、現在地上にある線路はほとんど変わっていませんでした。地下鉄について大阪市阿倍野区のホームページを使って調べたところ、1951 年に天王寺から昭和町まで御堂筋線が開通しているため、今回見比べた 1945 年～1950 年の時点では地下鉄は完成していないことがわかりました<sup>3)</sup>。

戦後ということもあり、阿倍野駅周辺には大きな建物は見つからず、長屋のような家が密集して立並んでいることがわかりました。それに比べ、2007年以降の地図では地図の中央の交差点に丸い歩道橋があり、駅周辺には多くの商業施設のようなものが見られ、発展しているように見えました。

念のため、国土地理院のサイトで戦前の地形図を見てみると、1921年（大正10年）測量の旧1万地形図「大阪南部」には、天王寺と天下茶屋の間に鉄道が通っていることがわかりました<sup>4)</sup>。調べてみると、この鉄道は地下鉄堺筋線の開業に伴い、1993年に廃止されておりました<sup>5)</sup>。

## 5.調査結果

まずはハルカスから阪南大学南キャンパスを見ることができるのかを調査しました。実際にハルカス展望台に上り、地上約300メートルから近鉄鉄道をたどり、途中の長居公園を目印にして方向を確認し、目視で見ってみました。

結果は目視では見ることはできませんでした。南キャンパスの周囲の建物からある程度の場所は特定できたものの、肉眼では到底見ることはできませんでした。そこでハルカス展望台にあったテレビカメラを操作して望遠鏡として使用したところ、ちょうどハルカスの柱と南キャンパスの位置が重なってしまい、見ることはできませんでした。

### まとめ

今回は見ることはできませんでしたが、渡辺先生が後日再調査に行ったところ、カメラのズーム機能と事前に南キャンパス周辺や南キャンパスだとわかる大きな杉の木を目印にしてみると、南キャンパスらしきものが確認できました。

次にハルカスから見た今の街並みと戦後1945年の地図を見比べて調査をしました。1945年に比べて大型の商業施設が増えハルカス周辺や各駅がある周辺は大きく発展していることがわかりました。このことから駅は交通の手段であるとともに人の流れを集めることで駅周辺の発展貢献しているのではないかと考察することができました。ただ、写真だけではどうしても分からない部分があり、やはり地図と併用して情報を補わねばならないことを学びました。

### 注

1)国土地理院「地理院地図 3D：1945年～1950年」

[https://maps.gsi.go.jp/index\\_3d.html?z=16&lat=34.64623666565647&lon=135.51278471946716&pxsize=2048&ls=std%7Cort\\_USA10&blend=0#&cpX=-4.088&cpY=5.472&cpZ=116.863&cux=0.024&cuy=0.739&cuz=0.673&ctx=0.000&cty=0.000&ctz=0.000&a=1&b=0&dd=0](https://maps.gsi.go.jp/index_3d.html?z=16&lat=34.64623666565647&lon=135.51278471946716&pxsize=2048&ls=std%7Cort_USA10&blend=0#&cpX=-4.088&cpY=5.472&cpZ=116.863&cux=0.024&cuy=0.739&cuz=0.673&ctx=0.000&cty=0.000&ctz=0.000&a=1&b=0&dd=0)（閲覧日：2024年1月24日）

2)国土地理院「地理院地図 3D：2007年」



[https://maps.gsi.go.jp/index\\_m.html#16/34.646796/135.513031/&base=ort&ls=ort&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m](https://maps.gsi.go.jp/index_m.html#16/34.646796/135.513031/&base=ort&ls=ort&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m) (閲覧日：2024年1月24日)

3) 大阪市阿倍野区 あべの今昔物語 (歴史年表)

<https://www.city.osaka.lg.jp/abeno/page/0000595719.html> (閲覧日：2024年1月24日)

4) 国土地理院「旧1万地形図10000-o698 大阪南部1921年測量、1922年10月30日発行」  
<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do?specificationId=1670747> (閲覧日：2024年1月24日)

5) 南海電鉄駅「周辺情報：天下茶屋駅」

<https://www.nankai.co.jp/traffic/station/tengachaya.html> (閲覧日：2024年1月24日)

## 南キャンパスを探せ：阿倍野ハルカスからの探し方

国際観光学部教員 渡辺 和之

阪南大学国際観光学部は2024年4月から国際学部へ編入されます。それに伴い、本キャンパスに引越をします。お世話になった南キャンパスも今年で見納めです。ならばいっそのこと高い所から眺めてみようではありませんか。このレポートでは、阿倍野ハルカスから南キャンパスを探す方法を紹介します。

2023年11月18日(土)、私たちは阿倍野ハルカス最上階の展望台に登りました。まだ日本一の高さです。北西側には動物園が見え(写真1)、西側へ行くと明石海峡大橋までがよく見えます(写真2)。南側にくると、学生たちは「うちはその辺」と喜んでいきます(写真3)<sup>1)</sup>。



写真1 天王寺動物園

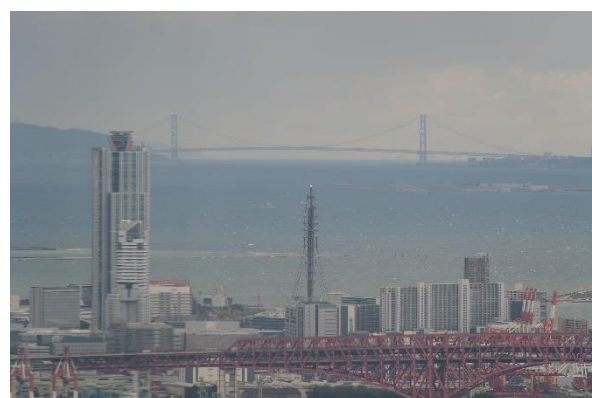


写真2 明石海峡大橋



写真3 自分の家を見つけるゼミ生



写真4 ハルカス展望台より長居公園。大和川の先には大泉緑地が見えます。  
阪南大学は長居公園よりも左（東側）です。



写真5 南キャンパス4階からのハルカス。杉の木の枝に隠れて見えます↑。

しかし、すぐにことは簡単ではないことに気がつきました。長居公園まではよく見えます(写真4)。ヤンマースタジオの銀色の屋根が特徴的です。その向こうに霞んでいるのは大泉緑地でしょう。大和川の土手が東西に線になって見えますが、その先は肉眼ではぼやけます。あのあたりかと思ってカメラを向けると、大学らしきものは何も写っていません。展望台を1周してから再度試みましたが、今度は南の空が雨雲に包まれてしまいました。大和川から先は何も見えません。つまり失敗だったのです。1800円の見学料は無駄に終わりました。これだけお金をかけて「わかりませんでした」では済まされないでしょう。何とかしてリベンジせねばなりません。

そこで今度は万全の準備をしました。翌週、南キャンパス3階の北側教室でゼミをしていると、ハルカスが見えました。こちらから見えるなら向こうからも見えるはずです。まずは位置確認からはじめました。4階のエレベーター前から見ると、展望台だけでなく、プラザ館が見えます(写真5)。つまり、美術館の広場からもこちらが見えるかもしれません。

次に南キャンパス4階から周囲の特徴ある建物を探しました。向こうから見るとすればゴミ焼却場でしょう。巨大な煙突が目印になるはずです。その少し西にはセブンパークスの茶色い建物があります。さらにハルカスを挟んで西側へ行くと、駅前のマンションがあります(写真5)。本キャンパスはその少し東側に顔を見せています。新校舎を作っているクレーンが目印になるはずです。念のため、地図でも確認しました。ハルカスと大学を結ぶ直線をさらに伸ばしてゆくと、山にぶつかります。金剛山から水越峠に向かう山並みです。

これだけ準備すればきっと大丈夫でしょう。1週間後に美術館前の展望台へ向かいました。しかし、南側には美術館があります。幸い、東側から東南方向に長居公園が見えました(写真5)。まずは特徴的な建物を探します。焼却場を見つけました(写真6)。セブンパークスも右にあります。さらに右の茶色いビルは駅前のマンションでしょうか。すると、その左でしょう。何だか白い建物があります(写真7)。ということは、これが南キャンパスなのではないでしょうか。建物の右端には高い木が1本あります。間違いありません。南キャンパスです。背後の山もよく見えています。たしかに金剛山から西、水越峠よりも東です。

#### まとめ

最後に南キャンパスの見つけ方をまとめます。ハルカスから南側を望む展望台に立ちます。まず、長居公園をみつけましょう。ヤンマースタジアムよりもさらに左、長居公園の緑が切れるあたりまで東の方角を見ます。特徴的な建物としては、大和川の対岸にある焼却場を探します。その右にセブンパークスがあるはずですが、その右の茶色いビルのあたりが河内天美駅前のマンションです。そこまで行くと行き過ぎなので、その左奥を探しましょう。白い建物が南キャンパスです。右に杉の木が1本立っているのが目印となります。背景の山が見えれば、金剛山と水越峠の間(行者杉のあたり)を目印に探すとよいでしょう。

ちなみに、美術館前の展望台からは本キャンパスを見つけられませんでした。新4号館のクレーンが目印のはずなのだけど、よくわかりませんでした。これはまた次回の課題です。



大和川以南の建物を肉眼で見るのはかなり限界に近いです。双眼鏡があるとよいです。

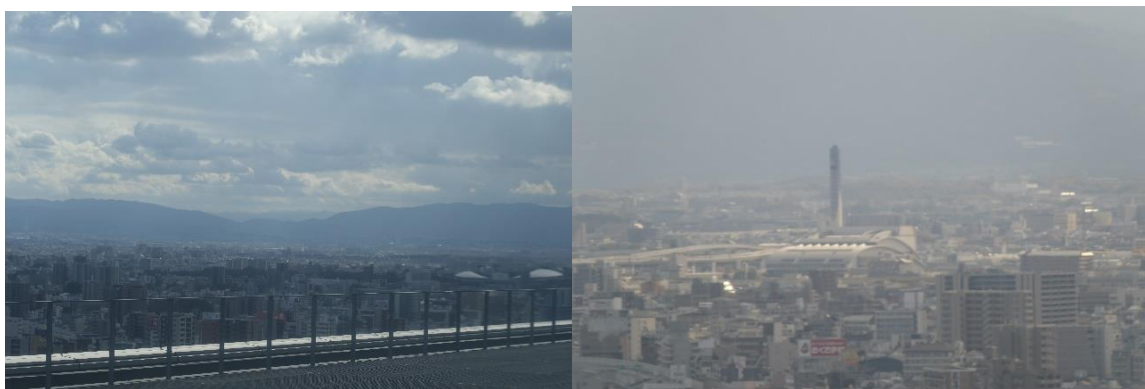


写真5 美術館前から東南方向を望む。  
右端にヤンマースタジアムが見えます。

写真6 ゴミ焼却場

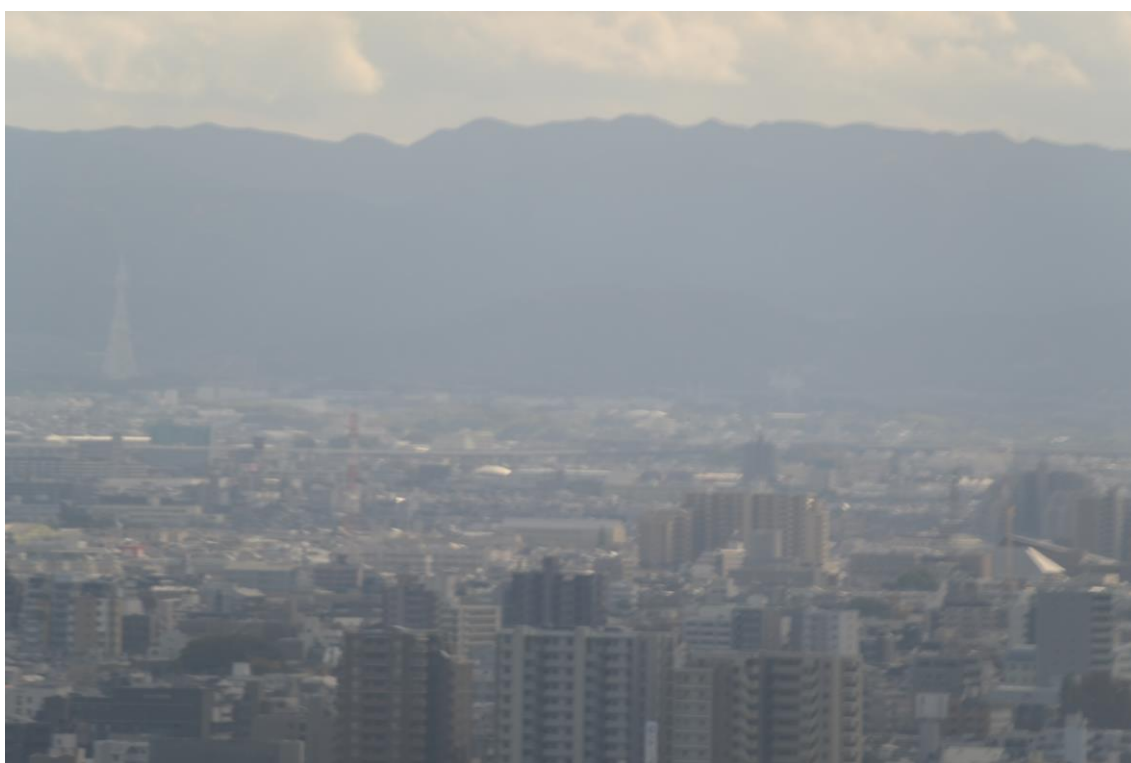


写真7 南キャンパスが見えます。 ↑この上の白い建物です。杉の木も見えます。  
では、本キャンパスはどこなのか？ 白い三角屋根が GYC Hall か新4号館棟？ ↑

注

1).写真はいずれも渡辺和之撮影。



## あとがき

今年には国際観光学部最後の1年生を送り出します。南キャンパスは1997年の国際コミュニケーション学部開設の際にできました。開設当時は国際コミュニケーション学部国際観光学科でしたが、2010年の学部再編で国際観光学部となりました。2024年4月からは再び国際コミュニケーション学部と合併し、国際学部国際観光学科となります。キャンパスも南キャンパスをあとにし、本キャンパスに移転します。これにより、南キャンパスは国際コミュニケーション学部開学以来、27年の歴史に幕を閉じることになります。

昨年11月には南キャンパスでクロージングイベントが催されました。歴代卒業生たちも南キャンパスにお別れにやってきて、懐かしい学生たちに会うことができました。卒業生たちも1年生の時にはフィールドワークだ、レポートだ、七夕祭りだ、ハロウィンだと、さまざまな行事をおこなってきました。コロナ禍で中断はありましたが、現在でもそのほとんどが続いています。

それらの行事は、来年度、本キャンパスに移ってから続きます。これからは本キャンパスを南キャン色に染め上げるのです。「観光は楽しそうだな」と、他学部・他学科の学生がうらやむような大学にしてゆきたいと思います。どうぞご期待下さい。



写真1 南キャンパスを背景に（撮影：渡辺和之、2024年1月17日）

++++  
渡辺和之（編）『2023 度後期大学入門ゼミフィールドワーク報告書』阪南大学国際観光学  
部渡辺研究室 2024 年 1 月 31 日発行  
〒580-0033 大阪府松原市天美南 1-108-1 阪南大学国際観光学部  
電話：072-332-1224 メール：watanabe@hannan-u.ac.jp URL [https://www.hannan-  
u.ac.jp/](https://www.hannan-u.ac.jp/) Kazuyuki Watanabe (ed.) 2024 Tennoji Zoo and Abeno Harcus: Students'  
Fieldwork Reports 2023. Osaka: Faculty of International Tourism, Hannan University.  
Address: 1-108-1, Amami-Minami, Matsubara, Osaka, 580-0033, Japan.  
E-mail: watanabe@hannan-u.ac.jp  
++++